

つね
常にざんき慚愧をいだ懐きて

あお
仰いでぶとん仏恩をしゃ謝せよ

— 善導大師 —

いのちを大切に

人間となろう

子供というものは、たいへん素直で、生命に対しても敏感である。ある時、夕餉ゆげに魚を焼いて食べようとした。しかし、幼ないむすこはなか／＼食べようとしなない。「どうしたの」と聞くと、「このおさかなも生きていたんだね」という。私は「人間は生きもの、生命をうばって、いただかないと生きていけない」と話した。

私たちは、ともすれば生命の問題を忘れがちです。子供たちのように新鮮な心で日々の生活の中に生命を見つめていきたい。それが念仏者の日ぐらしではないでしょうか。

総本山 永観堂 禅林寺



明日死ぬということがあるからこそ

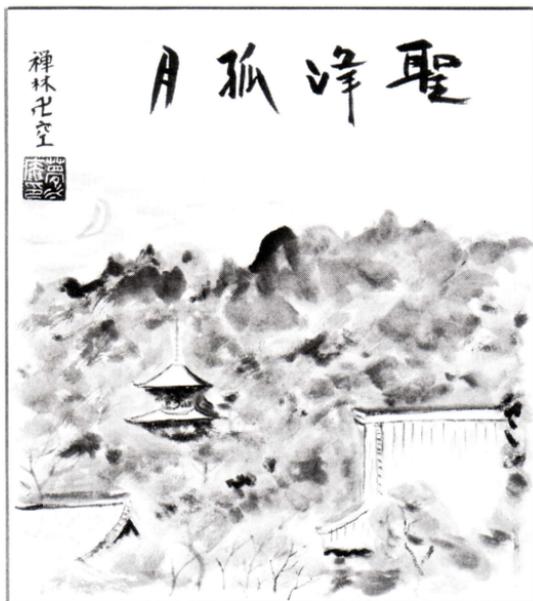
今日ほんとうに 生きねばならぬ

一生涯の定まりなきこと 夢のごとし幻のごとし
たれか定めん 今日その日にあらずとは――

法然上人「勅修御伝」

泣いて悲しんでも今日は今日
人をにくみ恨んでも今日は今日
ふくれっ面で愚痴をこぼすも今日は今日
欲にはしるも今日は今日
イライラ クヨクヨ過ごすも今日は今日
笑顔で暮すも今日は今日
幸せをよろこぶのも今日は今日
ご恩に感謝しても今日は今日
わが身の至らなさを反省しても今日は今日
人によるこびを与えても今日は今日
今日は二度ともどらない

総本山 永観堂 禅林寺

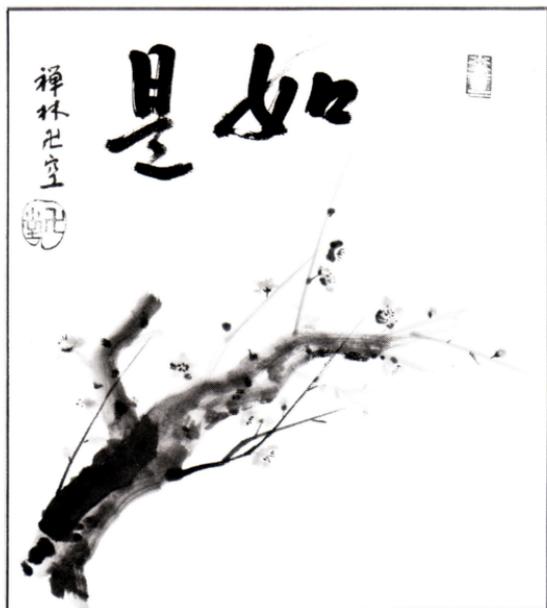


右の色紙は管長丹羽観堂猊下のご染筆です。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メ切毎月末 抽籤で一名に進呈。

阿弥陀仏

ここを去ること遠からず

観無量寿經



死んでから往くのが阿弥陀さまのお浄土だと、勘違いをしている人が多いようです。心を澄ませて、あなたのまわりを観みてください。耳をそばだてて、真実の音を聴いてください。

あなたのまわりには、阿弥陀さまが、あらゆる姿であなたを取り巻いて下さっていることに、気がつくはずですよ。仏像だけがほとけさまではありません。あなたのまわりの、すべてのものが……：……衣服も、食物も、家も、雨も風も、父も母も……：……みんな阿弥陀さまの「おはたらき」として現れていることに、気付いたとき、今あるこのままで、私はすでに大きな救いのなかに生かされていることが観みえてくるはずですよ。

総本山 永観堂 禅林寺

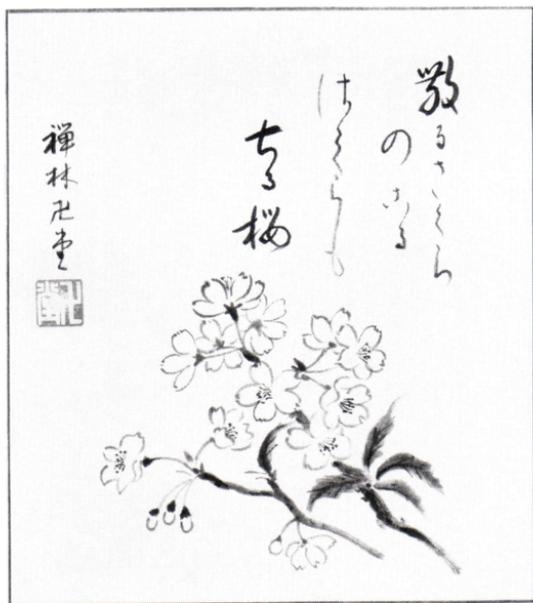
右の色紙は管長丹羽観堂殿下のご染筆です。前号の色紙は、但馬三昧院檀徒若林太市さんに進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。×切毎月末抽籤で一名に進呈。

阿弥陀仏と

十声となえてまどろまん
ながきねむりに

なりもこそすれ

—— 法然上人御歌 ——



「いつか死ぬのが人の運命だ、とは分かってはいるけど、病氣や事故で苦しんで死ぬのは嫌だ。できることなら、眠っている内にコトリと死にたいなあ」

こんな願望は誰もがもつものです。

が、そうした思惑をこえて眠りにつく前にお念仏を十回となえましょう、とこのお歌は導いてくださっているのです。

（これが今生の最後のお念仏かもしれない）と称えるのであれば、いちだんと心をこめて称えることができるのでしょうね。感謝の思いをこめて、大きな満足感で眠りに就くことができたなら、毎日がどんなにか幸せなことでしょう。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長丹羽観堂猊下のご染筆です。前号の色紙は、大分県臼杵市 宗 義雄さんに進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

心 常に悪を念おもい

口 常に悪を言い

身 常に悪を行こころいて

意 開解かいげせず

—— 大 経 ——



旧友たちに会う。昔懐しい顔ばかりだ。長い間会っていないと、名前が思い出せない。

食事すすすみ、「……………」と、ふいに語りかけたひと言で、旧友の顔が変化するのをみとめたとき、「ああ、しまった」と思った。

何の気なしに語りかけたこのひと言がその人の心の底をえぐったのだろう。

「口は災いのもと」というけれど、私たちは日ごろ、いかにこの言葉で人心を傷つけていることだろう。主張の時代とはいえ、人のうわさをし、あげつらい、悪口を言い、人心を乱して喜んでいる。

この造悪の口から、白蓮の芳香が出るのだろうかにね。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長丹羽観堂猊下のご染筆です。前号の色紙は、山口県吉敷郡 光明寺檀徒・服部明さんに進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メット毎月末抽籤で一名に進呈。

如来の光にあ遇うものは

三垢く消滅して

身意にゆうなん柔軟なり

—— 大 經 ——



「こころの車検を忘れずに」

新しい車を買って、人生という旅行に立つ人がいる。

歳月は過ぎて、愛着があると同時に、中古車となりつつあるあなたの愛車はどうですか。ガソリンはまだありますか、洗車はしていますか。そして整備点検を忘れずにしていますか。

時は過ぎ、どう見てもポンコツ車としか言えない車。こびりついたさまざまな汚れを引っさげて、走り続けたあなたの人生。その人生を、あなたは「名車だ」と言うことができますか。

仏縁に恵まれたとき、喜んでこころの定期点検を受けてみよう。磨きのかかった風格の名車といわれる日が、きつとくる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長丹羽観堂院下のご染筆です。前号の色紙は、東京都狛江市 藤本美恵子さんに進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

富むといえど

足ることを知らぬ者は

貧しい

法句經



慧眼視衆生

禅林ハミセ社堂



問「満ち足りる」という言葉の中に、なぜ「足」の字を用いたのでしょうか？

答 人間の体の中で一番苦勞しているのは足です。体重を一手に引き受けて、体のバランスも筋力で保ち続けています。心臓も足のために多くのエネルギーを使っています。病気になるると体がフラつくように、まず足に症状がくるでしょう。足の機能を完全にする——それが健康の根本であり、人間生活の基本でもあります。

それで「満ち足りる」という言葉に「足」の字を使ったといわれています。

今、モノがあふれ、心の不安が増大する世相です。足ることを知らないで欲をおこし、欲は必ず他人を傷つけ、自らを亡ぼします。

ところで、あなたは今、満ち足りていますか。

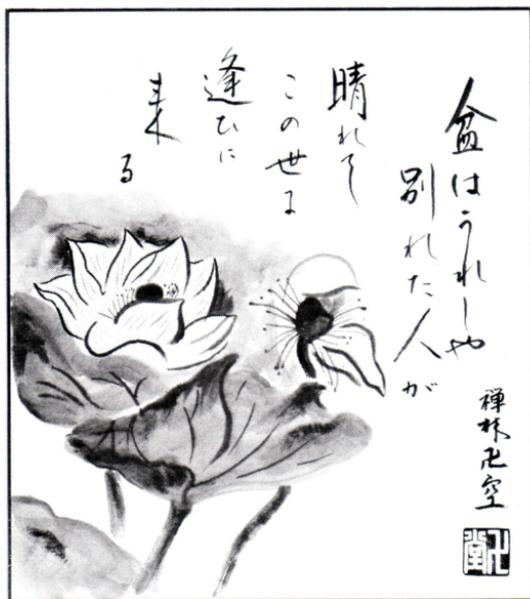
総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は菅長丹羽観堂現下の二染筆です。前号の色紙は、兵庫県市場来迎寺僧徒 田中広子様に進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月木抽籤で一名に進呈。

「朝夕に追孝の報謝を抽^ぬんでて

存亡ともに孝行を致すべし」

— 西山上人 —



中国の孔子が道を歩いていると、一人の弟子が大声をあげて泣き伏していた。

そこで孔子はその弟子に泣いているわけをたずねた。

すると弟子はこう答えた。

「今朝、私の親が亡くなりました。私は先生のもとで、親に孝するということをしるんできました。しかしもはや学ぶ意味がありません。」

と。孔子は他の弟子たちにこのことを話すと、三十数人いた弟子たちは一目散に、故郷へ帰っていったということです。

師の教えを實踐し、親に孝するために。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長丹羽観堂況下のご染筆です。前号の色紙は、姫路市大塩町62-16 湯谷美雄様に進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

人中にんちゆう 天上てんじゆうの快樂けらくは

夢中むちゆうにして幻まぼろしの如ごとし

— 西山上人 —

隨處作主

西山上人



禪林比丘



人間は死の瞬間まで生きている

物質文明が進んだ現代では、工場で作ら

れる製品があふれ、物があれば幸福だと錯

覚して、生命の尊さを忘れている。

人間の寿命が延びるのは結構なことだが、

ともすれば、人間と物を同じように考えて、

人間の一生のうち、生産力を持つ時期だけ

が大切にされがちです。その時期だけが、輝

いているのではない。第一線を退いた老人

の知恵も素晴らしい。悩み、苦しんでいる

時でも、生命は輝いている。

人間は死の瞬間まで生きている。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長丹羽観堂猥下のご染筆です。前号の色紙は、京都市良恩寺檀徒 宮森しげ香様に進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月末抽籤で一名に進呈。

聞法を得たるが故に

顔色和悦せり

— 観 経 —



禅林 元空



毎日三度の規則正しい食事は、健康のもとだ。

この食事が毎日のエネルギーを生む。

そして活動ができる。

ある人が、私にこう言った。

「人間は一日に四度メシを食え！」と。

そのうちの三度は朝、昼、晩の食事。残

りの一回は、心の栄養になるメシを食えと。

私達は、身体に栄養をとるように、心に

も栄養をとらねばなりませんね。

心の栄養とは何でしょう。それは、間違

いのない仏様のみ教えをしつかりと心に

ただくことです。

総本山 永観堂 禅林寺

厭おん

離り

穢え

土ど

欣ごん

求ぐ

浄じょう

土ど



私たちの浄土宗をお開きになった法然上

人は、九歳のとき、父君を殺されるという

大悲劇に会われました。

その父君がいまわの際に「仇を討つな。

怨みを忘れすべての人が救われる道を求め

よ」と遺言されました。

法然上人はこの遺言のもと、出家されこ

のような世の中に生まれなければならなか

った人々が、怨みを超えて分け隔てなく救

われていく道を求められ、念仏の教えに到

達されたのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長丹羽観堂猊下のご染筆です。前号の色紙は、京都・更雀寺檀家 林川芳太郎様に進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。メ切毎月末抽籤で一名に進呈。

よべば呼ぶ

よばねば呼ばぬ 山彦の

となうる声も

弥陀のよびごえ



ある彫刻家が新聞紙上にこんなことを書いていた。

「わが家には母の遺した小さな仏壇が押し入れの中にある。すぐ横には書籍やアルバムやその他が雑然と積んであって、まさしく押し入れそのものである。しかし、この小さな仏壇の扉を開いてこれに向かうとこの簡略なしかげがやはり異次元空間に開かれた窓であると知るのである。」

私を手を合わせ心しずかに仏様に向かうとき、仏様と私と一緒にになれる。それがお念仏なのですね。

西山上人はお示し下さいました。

「南無阿弥陀 仏のみ名と 思いしに
となうる人の 姿なりけり」

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長丹羽観堂猥下のご染筆です。前号の色紙は、北海道若見沢市 菅原寿百子様に進呈しました。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年令明記の上、下記へ申し込み下さい。切毎月未抽籤で一名に進呈。